

受章おめでとうございます 根岸光一氏『旭日双光章』 大久根宏氏『瑞宝双光章』

このたび、根岸光一氏（安戸）が旭日双光章、また、大久根宏氏（安戸）が瑞宝双光章を受章されました。11月3日付で政府から発表となったものです。



大久根 宏氏

大久根氏は、昭和39年3月に豊島郵便局に入局、昭和50年6月には東秩父郵便局長に就任し、平成18年3月までの約42年間にわたり郵便局職員として活躍されました。

この間、地域の郵便業務に尽力されるとともに、比企西部会部会長や西北連絡会会長を務められるなど多くの役職を歴任されました。



根岸 光一氏

根岸氏は、約60年にわたり、伝統地場産業である手すき和紙の製作に携わり、昭和53年4月に国指定の重要無形文化財である細川紙技術保持者に指定され、細川紙の保存・伝承に努められました。

また、平成13年4月から現在まで11年間、細川紙技術者協会の会長を務め、協会の運営・発展に尽力され、この間、後継者の育成にも積極的に取り組み、これまでに5名の技術者を育てられました。

根岸氏は、『このたびの叙勲は、誠に光栄なことと感謝しています。これもひとえに、ご指導をいただいた先輩方をはじめ、細川紙技術者協会の仲間や行政の皆さん、そして地域の皆さんからのご支援の賜物と思っています。』

今後、より良い和紙づくりに精進するとともに、後継者の育成にも力を注いでいきたいと思えます。』とおっしゃっていました。

大久根氏は、『この度、はからずも「瑞宝双光章」を受章し、身の引き締まる思いです。郵政一筋40年の間、私を支え、ご支援をいただいた大勢の皆さんに感謝の毎日です。諸先輩方には、良きご指導とご助言を、同僚には励ましを、そして部下職員には協力をいつもいただいた、その後押しがあったからこそその叙勲かと思えます。』

40数年間、官でもなく民でもなく、「公」に尽くす、その一心で郵便局の仕事をやってきましたが、お客様からみればどうだったかな、今思うと独りよがりではなかったのかなと反省しきりです。今後は受けた恩をお返しすべくこの榮譽に恥じることのないよう、地域の皆さんの「縁の下の力持ち」ができるよう精進したいと思えます。』とおっしゃっていました。

冬の交通事故防止運動 街頭活動

12月12日、安戸バイパスにおいて、冬の交通事故防止運動の街頭活動が行われました。

街頭活動では、小川警察署の主催により東秩父村、小川地方交通安全協会東秩父支部、東秩父村交通指導隊、東秩父村交通安全母の会の皆さんが



中心となって、啓発資料の配布と母の会の皆さんが手作りしたマスケットを配布し、安全運転を呼びかけました。

皆さんも心にゆとりを持ち、交通事故に遭わないよう、また起こさないよう十分注意しましょう。

ご寄付ありがとうございました

◆ 埼玉中央農協東秩父支店様より1万6200円を東秩父村社会福祉協議会へご寄付いただきました。

◆ 根岸光一さん（安戸）より東秩父村に10万円をご寄付いただきました。